

城崎国際アートセンター 2019(平成31)年度アーティスト・イン・レジデンス プログラム選考結果

過日募集した、2019(平成31)年度のアーティスト・イン・レジデンスプログラムの選考結果がまとまったのでお知らせする。

1 募集期間

平成30年4月6日(金)～6月4日(月)

2 応募総数

68件(20カ国)

日本30件、台湾3件、中国1件、タイ1件、インドネシア1件、インド1件、オーストラリア3件、アメリカ11件、カナダ1件、チリ1件、アルゼンチン1件、イスラエル3件、イタリア2件、フィンランド2件、オランダ2件、スペイン1件、アイルランド1件、ノルウェー1件、アイスランド1件、ラトビア1件

※ ただし、国名は代表者の国籍による。

3 選考方法

外部選考委員と城崎国際アートセンター職員で構成した選考委員会で、書類審査を行った。舞台芸術を中心とした芸術の創造に関わる活動を以下の観点で審査した。

(1) 選考基準

ア 実現性が確保されている活動

イ 以下のいずれかの点で優れた成果を期待できる活動

(7) 波及力

滞在中に行う芸術文化活動を豊岡・城崎の名とともに国内外に発信する展望を持つ作品や活動

(4) 国際性

複数の国や言語にまたがって創作を行う作品や活動。

(6) 地域性

豊岡・城崎の地域資源の活用や社会課題へのアプローチを通して創作を行う作品や活動

(5) 革新性

他分野との協働など、新たな発想や手法によって、舞台芸術が社会に果たすこれまでにない役割や可能性を示す作品や活動

(8) 将来性

これからの収斂しゅうれんによって未来の芸術表現にインパクトを与えることが期待される作品や活動

(2) 選考委員

氏名	役職等
平田 オリザ	劇作家、演出家、青年団主宰、豊岡市芸術文化参与 城崎国際アートセンター芸術監督
佐東 範一	NPO 法人 Japan Contemporary Dance Network 代表 城崎国際アートセンター・アドバイザー
木ノ下 智恵子	アートプロデューサー、大阪大学 21 世紀懐徳堂 准教授
相馬 千秋	アートプロデューサー、NPO 法人芸術公社 代表理事
田口 幹也	城崎国際アートセンター 館長/広報・マーケティングデ ィレクター
吉田 雄一郎	城崎国際アートセンター プログラム・ディレクター

4 2019 年度プログラム

全 20 件(8カ国)を 2019 年度の城崎国際アートセンターのアーティスト・イン・レジ
デンスプログラムとして受け入れる。

※ レジデンスの概要は、別紙「プログラム一覧」のとおり

(1) 選考結果

17 件 (7カ国)

〔 日本 13 件、台湾 1 件、(イタリア+フランス)共同 1 件、(日本+イギリス)共
同 1 件、(オーストラリア+日本+香港)共同 1 件 〕

(2) 城崎国際アートセンター芸術監督・アドバイザー推薦

3 件 (2カ国)

〔 日本 2 件、(日本+韓国+フランス)共同 1 件 〕

5 選考結果の特色

- (1) 応募総数は、平成 30 年度の 94 件から 68 件と減少したが、応募者は、国内(30 件)
にとどまらず海外からも 38 件あり、城崎国際アートセンターの事業や活動が、国際
的にも評価、認知されていることが見て取れる。
- (2) 採択が決定した事業の分野は、ダンス 8 件(No1、3、10、13、14、16、17、19)、演劇 7
件(No2、4、5、8、9、11、15)、音楽 1 件(No12)、現代美術 1 件(No20)、その他 3 件(No6、
7、18)となり、バランスのとれたラインナップとなった。

- (3) 滞在期間中には、制作中の作品の試演会やアーティストトーク、参加型のワークショップ、市内小・中学校へのアウトリーチなど、無料で参加できる地域交流プログラムを実施する。市民とアーティストの交流で、市民が芸術活動に触れることのできる機会を積極的に創出する。
- (4) 選考結果の講評は、別紙「城崎国際アートセンター選考結果」のとおり

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888